

2025年度 第46回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門 朗読部門 結果・講評一覧

番号	評価	講評など (仲山先生)	講評など (安田先生)	講評など (その他の審査員)
----	----	----------------	----------------	-------------------

【審査員】

仲山 豊秋	元NHK	(主審)		
安田 知博	放送部インストラクター			
伊藤 元也	四天王寺東高等学校			
秋本 みゆき	府立いちりつ高等学校			
内野 洋子	プール学院高等学校			
鎌田 潤	元コンテスト委員長			
田中 亜佐美	府立東高等学校			
井上 舞柚	東海大学付属大阪仰星高等学校	(計時)		
横畠 勇司	大阪国際高等学校		(原稿チェック)	

7人の審査員が100点満点で採点し、合計700点で評価しました。

その上で、規定違反(もとの作品と異なる、原稿通り読めていない等)について減点しました。

その得点を基準として、上位3位を優秀賞、続く8人を奨励賞としました。

また、入賞まで概ね25点以内をA評価、概ね60点以内をB評価、それ以降をC評価としています。

なお、大きな規定違反があった(作品原本の抽出部分のコピーの提出がなかった)場合は失格としました。

審査員からいただいたコメントをまとめ、「講評など」として掲載しています。

※ 審査番号順に掲載しています。

個人情報保護のため、学校名・名前の掲載は控えています。

大阪府高等学校視聴覚教育研究会 放送コンテスト委員会

番号	評価	講評など (仲山先生)	講評など (安田先生)	講評など (その他の審査員)
1	B	朗読のしゃべりになっていない。ワード・フレーズなどを感じながらしゃべるように。	作者名が聞き取れなかった。全体として忙しすぎだと思います。「わくあく」「わたしあ」など、発音が正しくない言葉が多いです。最後の文は無くてもいいのでは？	はやくて理解が追いつかない。場面を想像できる余裕が欲しい。登場人物がどれだけいるかわかりづらい。早口。音のさばきが良くない。アップルパイの美味しさを伝えてほしい。地の文の文末をしっかりと下げたい。アクセント注意。番号・作者等もしっかり。もっと間がほしい。食べ物をもっと美味しそうに表現してほしい。上下の音域が狭い。タイトルが聞き取りづらい。同じテンポ。高低差をつけて。話すように。
2	欠席			
3	欠席			
4	B	完全に読み調子のなっている。動きが絵になるようなしゃべり方を意識してほしい。	番号が張り切りすぎだと思います。無理に遅く読んでいるように聞こえます。せりふが、おばちゃんのようにでした。「ゆわれ」は誤った発音ですよ。	浪々と語り上げているが、話し言葉としては不自然に聞こえる。イントネーションに注意。意味の塊をとらえるようにして。フレーズの切り方に工夫を。地の文の読み方に工夫を。発声がよい。読み方にクセがある。歌舞伎のような言い回しになっている。自然な朗読を。「おいで」が何度も出てくるが、クセのせいでくどく聞こえる。話すように。単調に聞こえる。テンポに変化を。
5	C	滑舌が甘い。朗読のスピードがはやい。絵が想像しづらい。	全体として速度が上がりすぎだと思います。子音のShの発音が英語のようでした。そのせいもあって、全体が翻訳文学のようでした。すみのよるさんの文章のイメージとは、ちょっと合わないと思います。	書名等が聞こえない。はやくて理解が追いつかない。一つ一つの音を大切にしてほしい。会話が理解しづらい。音のさばきがよくない。この作品を選んだ理由は？「し」の音の練習を。マイクが近い。滑舌が甘い。息が多め。うねり。セリフが多すぎる。なぜこの抽出？間がほしい。作者が聞き取りづらい。
6	C	滑舌が甘い。同じ音声ゾーンのしゃべりになっている。	全体が忙しすぎて、誰かに聞いてほしいと思って声を出しているのかどうか、よく分かりませんでした。ちゃんと言える速度で読んでください。	聞き手にむけた語りかけを意識しよう。列挙されているが、内容が頭に入りづらい。誰が話しているのか理解しづらい。早口。単調な読みになっているので、大切な言葉をたてる意識を。アクセント注意。う行が甘い。間が欲しい。一語一語を丁寧に発音しよう。文頭と高くから。
7	A	最終フレーズの音声の消えが気になる。不必要な間の取り方が目立つ。	声の出方が不安定です。語尾だけ息っぽい箇所がある。放送部のアナウンサーとしての力も問われてるんですよ。吹かれに注意。「を」の発音は「お」です。	語末の音が消えてしまう。場面を描こうと工夫している。ややブツ切れが気になる。冒頭が入ってこない。表現の工夫をしている。文末が消えて聞こえづらい。間の取り方を工夫している。クセのある発音。はじめの音にこぶしが入る点がうねりに聞こえる。息が多い。たまにバスガイドのようになる。声圧を押したり引いたりしすぎて安定しない。不安になる。語尾に息が入っている。
8	奨励	比較的絵が浮かぶ朗読に聞こえる。	題名が聞き取りづらい。夫婦の会話には聞こえないなあ…。予習無しで聞くには、ちょっと設定が難しいと思いました。	場面を描こうと工夫している。地の文とセリフの間を工夫して場面を作ろう。長い文の処理。本のタイトルが聞き取りづらい。タイトルが不明瞭。下の音域を使えるとよい。セリフの発声を自然に。「痛くない」の「ない」が強すぎる。場面がわかりやすい。淡々と聞こえる。ドラマが伝わり、場面がよくわかった。
9	優秀	声の使い分けが良い。朗読としてのリズム感がある。	本文に入る前のポーズが短すぎ。そんなに怖い声で聴きましたか？「父親」の無声化ができてません。共通語でしゃべりたいのか、関西風にしたいのか、受け止め方に困る場面がありました。	やや速い。場面を創ろうと工夫している。オダサクの独特のリズムにやや苦しんでいる。句末の処理。少し早口。もう少しゆっくりでいい。緩急をつけている。語尾の「て」が若干伸びる。「あー、助かった」のアクセント。早いところが聞き取りづらい。マイクに近すぎて聞こえづらい箇所がある。聞き取りやすい。会話がやや早い。「もどって」の語尾のび。助詞が上がる箇所がある。

番号	評価	講評など (仲山先生)	講評など (安田先生)	講評など (その他の審査員)
10	奨励	スピードや間の取り方が一定になっている。動きのない朗読に聞こえる。	1文めの名詞がよく聞き取れませんでした。吹かれに注意。「なったように」のアクセントは要りません。「私は…」というせりふ、そんなに堂々と言ったのかな？	地の文で場面をしっかりとつくってほしい。マイクがやや近い。セリフで引っ張っている印象。スピードの変化にもう少し工夫を。句読点の間を工夫したい。タイトルがよく聞こえてよかった。テーマの取り方がよい。たこ焼き屋の人の性別は？吹かれに注意。シーンが想像できた。聞き取りやすい。「ふたつめ」が聞こえにくい。ラストはもう一工夫を。
11	優秀	声出しが弱い。使っている音声が一音。もっと使い分けをしてほしい。	「縫う」の母音が横開きでした。「という」のほうが強いのはおかしいです。鼻濁音をあきらめないで。祖母のせりふ、あんまりどぎつくしなくていいと思います。	落ち着いた表現。セリフの温度感はいい感じだが、地の文はもう少し演出できるかも。祖母は良いが主人公の表現には工夫を。途中で音声小さくなって後半が聞き取りにくいところがある。番号が不明瞭。上から下の音域で読めていない。中途半端なところで止まる。うねりがある。文の途中で平坦になる箇所あり。文末が苦しそう。会話上手。ラストはもう一工夫ほしい。
12	失格	強調感が感じられない。会話箇所も読み調子に聞こえる。	「らくたい」に聞こえます。「しゅういち」は口を出せばではありません。「な一お」に聞こえます。「せあにも」に聞こえます。「ちしょうをこういつに」ですか？聞き取れない言葉が多かったです。	内容を丁寧に伝えるよう、音を大事にしてほしい。人の名前が伝わりづらい。句末処理。声の表情。セリフの工夫を。登場人物のイメージを作してほしい。エッジボイスが入るクセがある。滑舌が甘い。主人公の名前がわかりづらい。「せわにも」の「わ」が不明瞭。ふわふわして聞こえる。うねりが多い。子音がわかりづらい。「は」が「あ」になりがち。
13	B	会話を同じ声使用だけで表現してしまっている。息づかいを感じないしゃべりになっている。	「やっぱり」から音量が上がりました。「人たち」など、ちゃんと読めない速度になった言葉があります。「しかし」など、無声化ができない言葉がありました。「地下鉄」のアクセントが違います。	一つ一つの音を大切に。同じペースで表現してしまっている。場面をつくるように工夫しよう。場面は見えるが、音さばきに工夫を。音がくっついてききとりにくい箇所がある。音域をもっと下げてほしい。滑舌が甘い。一音一音を丁寧に。抜粋箇所が想像できる、大阪人なら嬉しくなる情景。伝えたいことは何？「JR～」から早くなっている。もう少しゆっくり、話すように。
14	奨励	場面の動きを声で表そうとする意欲がある点よい。	タイトルコールの四つの情報、アクセント幅が狭すぎ。「配慮」だけ高いのはおかしいです。「あの日」から雰囲気切り替えたいんだけど、文末が高止まりにならないほうがいいです。	丁寧に表現しようとしている。時折、音が流れている。滑舌に注意。場面を作ろうと工夫している。文末止め。「あの日～」の部分の声の高さに疑問。句読点の工夫を。ぶつ切りに聞こえる箇所がある。囁き声の表現を考えよう。語尾をもっと下げてほしい。間の使い方や表現がよい。抜粋が面白い。囁いたアクセント。面白い、伝わる。タイトル聞きやすい。ダ行に注意。「最後の」の後が不明瞭。
15	B	腹から声を出すように。文字を追うしゃべりになっている。	マイクが遠すぎだと思います。短歌の引用から始まるのが最適かどうか。子音のsの発音を見直してください。	歌の表現が難しい。丁寧に表現しようとしている。少しマイクから遠い。訴えるものがわかりづらい。マイクから遠い。ぶつ切りに聞こえるので、句読点の研究をしてほしい。ナ行が甘い。声を前に飛ばす意識で声圧を。うねり。ラストに工夫を。
16	奨励	一生懸命に読むだけの朗読になっている。自分の持っている声をフルに活用してほしい。	「じゅうらくばん」に聞こえます。「しぎょう」に聞こえます。「就職活動」の無声化。「うらやましくて」の「しく」は無声化。「二人」も無声化。	丁寧に表現できている。意味の塊で表現しているので、内容がつかみやすい。最後セリフの前が聞こえづらい。フレーズの作り方に工夫を。語尾や文末が消えかかっているところがあり、残念。平坦な音域が続く。ふわふわと聞こえる。うねり。「二人」の吹かれに注意。発音がよい。情景が浮かびにくい。何工房？それ以外は聞き取りやすい。ラスト一文の前の「熊本さん」が下がって聞こえた。
17	B	滑舌がやや甘い。会話文を自然なしゃべりにしてほしい。	せりふだけが、生き生きしています。地の文の音域が狭くならないように注意。吃音の表現は、もっと練ったほうがいいと思います。	関西弁か共通語かの迷いがある。語尾が伸びている。イントネーションに注意。セリフの表情を考えよう。句末処理。終わり方に注意。大阪弁がやや不自然な印象。文末をしっかり下げよう。「番」の「ん」が不明瞭。息がマイクにのっている。上から下に読む努力を。文頭をもう少し高く入った方が聞き取りやすい。文末を下げて。
18	A	会話文も読んでしまっている印象。もっと声の使い分けをしてほしい。	「それは分かるけど」から始まるのは最適な？「ちっとも」は無声化。最後の文は無くてもいいのでは？	誰のセリフがわかりづらい。地の文で場面を作るところをこころがけて。娘の表情が理解しづらい。文末処理。緩急を考えて。冒頭のセリフが長くて状況がつかみづらい。セリフが棒読み。語尾の音程が気になる。もっと下げてほしい。声は出ている。「～ない」の「ない」が強すぎ。滑舌がよい。会話文が読んでいる印象。

番号	評価	講評など (仲山先生)	講評など (安田先生)	講評など (その他の審査員)
19	A	フレーズの「消え」が気になる。長い文章になると、特に棒読みの傾向を感じる。	番号はちゃんと言えたのに、すぐに、かさかさ声になってしまいました。「押し寄せた」など、滑舌の限界を超える速度になった言葉があります。最低音まで下がるのは文末だけにしてください。	やや速い。ずっと同じペース。一つ一つの大戸を大切に。息の多い発声になっている。音の響き方に工夫を。文末処理。間の取れないところがある。発声に息が多いので囁き声に聞こえる。番号タイトルが早すぎる。息が多く、うねりが多い。声圧が押し引きの不安定な読み。頭が強い。語尾がほぼ息になっている。タイトルが聞きやすい。もう少し低い音を使いたい。
20	奨励	声を上手く使っている。ただ、それがベースになっていることが残念。	「答えを」の次の言葉が聞き取れません。「そんなのに」を頑張りすぎ。予習無しで聞くには難しい場面だと思いました。「三度」のアクセントが違います。	やや速い。時間の経過を間で表現しよう。表現の工夫が見られる。文末処理。緊迫感が伝わる。文頭の音が強い。間の取り方を工夫している。作品タイトルが不明瞭。「見失っていた」のアクセント。一語一語が早い。ずっと同じリズムに聞こえる。登場人物目線で読めている。
21	B	会話のしゃべりは良いが、地の文に工夫が必要。文章を読まされている印象。	母音の発音を明瞭にしてください。吹かれに注意。「ひろみと伊藤」に聞こえます。	セリフと地の文の間を工夫しよう。地の文で場面をつくるように。同じペース・同じトーンで表現されている。音さばきに工夫を。緩急に工夫を。地の文が単調。タイトルと本文の間に間をおいて。滑舌が甘い。言葉の切れがほしい。文頭をもう少し上げてよい。高低差が小さい。
22	A	一種類の音声しか使っていないという印象。もっと声の使い分けを。	「楽しい」のアクセントが違います。吹かれに注意。「から」のあとのポーズは無し。「帰りたくない」のあとも、切ると分かりにくい。「すの時間」に聞こえます。	マイクがやや近い。回想している場面の雰囲気を出そう。全体的に単調。音の高低差を工夫したい。作者の音程はもっと下がってほしい。吹かれに注意。マイクに近すぎる。マイクに頼る発声になっている。自力で良い声の出し方を工夫しよう。マイクが吹いている。もう少し腹から声を出してもよい。
23	欠席			
24	A	一部聞こえづらい箇所がある。全体的にモノトーンな朗読。	作者名と作品名が低すぎ弱すぎ。「越後先生」でひと塊です。「先生」のアクセントが残ります。先生のせりふが、なんか怖い。あんまり卑屈な語り口にしなくていいと思います。	やや速い。冒頭をもっと丁寧に。場面にあった発声・表現を工夫しよう。地の文の声の作り方。場面の表現の作り方に工夫を。地の文の文末の音がききとりにくい。滑舌が甘い。うねりが多い。ずっと同じ音域。セリフが演劇調。一語一語を丁寧に。ラストにもうひと工夫を。
25	A	「～と言った」のしゃべりに工夫がほしい。「～した」も語尾が上がって不自然に聞こえる。	音域を広く使いましょう。母音の発音が子供っぽくならないように注意。「あ」は大声だけど、本物の大声を使わなくていいと思います。	地の文とセリフの表現の差がほしい。主人公の気持ちに寄り添った表現の工夫を。やや単調。「と言った」の処理に工夫を。文末の処理。単調な読み。キーワードをたてよう。言葉の切れがほしい。息が多い。もっと声圧がほしい。音域が狭い。文末はもう少し下げた方がいい。よい場面。
26	B	スピードが常に一定で、全体的に、弱々しい印象になってしまう。	母音の発音を明瞭にしてください。「目にしたとたん」で急に大声でした。設定が特殊なので、理解が難しいです。	聞き手に物語を伝える工夫を。自然な話し言葉の息で表現しよう。ブツブツ切れている。一音一音を大切に。強弱などの表現に工夫を。ぶつ切りになっている。句読点を研究しよう。ストレートな発声を。滑舌が甘い。ゆったり読み。スピードに工夫を。驚きを圧で表現するのは違うと思う。文末が下がっていない。ブツ切りの印象。
27	A	言葉やフレーズの「消え」が気になる。地の文の朗読が常に一定で、不自然。	「ななじゅう」のアクセントが違います。あなたの現時点での滑舌力を踏まえて速度を決めてください。まぎれもない妻の声は、そんなに間抜けな声ですか？「幻聴でも…なのだから」のあたり、そんなに機嫌悪くならないと思います。	語末の音が消えている。疲れている様子が表現として伝わりづらい。もっと軸り描く場面では？少し早口。セリフの速さはこれでいい？ところどころ聞き取りづらい。番号が不明瞭。マイクが遠い。もう少しゆっくり聞きたい話。一語一語が早すぎる。妻が元気づける。もう少し世界観を表現できたら良かった。聞き取りやすい声。良い場面。ラストの読みに工夫を。

番号	評価	講評など (仲山先生)	講評など (安田先生)	講評など (その他の審査員)
28	C	朗読に力強さをもってほしい。 unnecessary ポーズが気になる。	「お葬式」を共通語で言うときは平板。放送部アナウンサーとしては、発音が雑だと思えます。急ぎすぎ。滑舌が全く追いつかないし、リスナーの理解も追いつかない。	「上」は不要。一つ一つの音を丁寧に。イントネーション注意。セリフと地の文の区別がつかない。セリフの表情・テンポ・切り替えをよく考えよう。読むことに精一杯の印象。音の高低差をつけて読もう。滑舌を頑張ってもらいたい。文頭をもう少し高い音で。
29	欠席			
30	失格	声が薄い。犬の鳴き声の表現に違和感がある。	鳴き声の音量が大きすぎ。地の文は歌うように上ずって聞こえます。話すことと読むことの距離を近づけて。吹かれに注意。	犬の声が不自然に大きい。場面がよく伝わらない。もう少しわかりやすい抽出を。この入り方でよい。フレーズの作り方に工夫を。普段話している声で読んでほしい。犬の声はしっかり出ている。声を作っている印象を受ける。言葉の切れがほしい。「あう、あう」が突然で怖かった。「すますと」のアクセント。文末に注意。一文めで急に大きな声が聞こえるとリスナーは驚いてしまう。
31	優秀	しっかりとした声使いは好感がもてる。やや音を引っ張った声出しになっている。	「という」から高いのはおかしいです。「たくさん」は無声化です。吹かれに注意。「し」の発音がsilになっています。「怖かった」は頭高アクセントです。最後の終わり方には違和感がありました。	落ち着いた表現。セリフの差がうまく表現できている。主人公は何歳？読みは若そうに響いている。セリフ良い。意味のまとまりを考えて読みたい。ぶつ切りに聞こえる箇所がある。発音がよい。発音がよい。マイクに近い。アナウンスのような入り方。話題が全国大会向き。「なれるのだろう」が不自然なスピード。聞き取りやすい。面白い場面。ラストの一文に工夫を。楽しく聞けました。
32	失格	声が薄い。しっかりとした声づかいにしないと伝わる音読にならない。	おたまのアクセントが違います。キャラクター設定が分かりにくい。アニメキャラみたいなの声の男女が話す場面なの？地の文、無理に男っぽく低くなくていいと思えます。	兄弟は「けいまい」？全体的に単調。場面がわかりづらい。セリフの音が作りすぎすぎ？抽出の理由は？アニメ調の声に聞こえる箇所があるので、自分の自然な声を十分に活用する読み方を工夫してほしい。自然な発声を。息が多い。喉を解放して。ラストが面白かった。もう少し腹圧を。
33	奨励	読み急ぎしている。文章が意味するものをしっかりとらえて音声化してほしい。	タイトルコールが早口でした。本文も忙しい。「こうこう」のアクセントは頭高だと思えます。「体を打って」など、速度が上がすぎて発音できない箇所がありました。「あふれた」だけ高いのはおかしいです。	やや速い。もう少し落ち着きがほしい。気持ちと情景描写の表現に工夫が必要。緩急の工夫を。文末を止めよう。文頭が同じ高さになっている。一語一語が早すぎる。同じ音で始まり、同じ音で終わる。長い文がうねる。いい場面です。
34	A	声が一定になっているため、動きやシーンがわからない朗読になっている。	吹かれに注意。妹からのメッセージを、本物のせりふのように大声で言わなくていいと思えます。「姉妹」のあとのポーズが長すぎだと思えます。ドラマ性が今一つの抽出でした。	もう少し落ち着きがほしい。マイクが近い。長い文の処理に工夫を。二人の年齢や関係性がわからないと伝わらない場面。メッセージをセリフ的に読む？語尾が上がっているところに注意。助詞に注意。うねる。文末が伸びる。「わけではない」が立ちすぎる。音域が狭い。ダ行に注意。高低差。文頭から文末にかけて上から下に。
35	奨励	声が薄く強弱感がないため、説得力をもたない朗読に聞こえる。	マイクから遠すぎるかな？「百歳」は無声化。「じすて」に聞こえます。「過ごしてきて今」ではないと思えます。「なってしまう」を急ぎすぎた。	もう少し落ち着きがほしい。全体が同じペース・トーンになっている。表現に工夫を。状況がよくわかるように読んでいる。「35」が「たんじゅう」に聞こえる。声が弱く、マイクに乗らない。息がマイクに入る。うねり。音の使い方はもっと工夫できる。文末が下がっていない。ラストの読み方に工夫を。「～今」の切り方はそれでよい？
36	欠席			

番号	評価	講評など (仲山先生)	講評など (安田先生)	講評など (その他の審査員)
37	B	読み調子になってる。喜びや悲しみなどを表現する意識をもっとほしい。	本文に入る前の切り替えが不十分。「おかげでこの」ではありません。「嬉しい 苦しい」のアクセントが違います。吹かれに注意。	冒頭からしっかりと場面を描こう。ずっと同じペースで読んでい。話し言葉の自然な息づかいで表現しよう。本文前に区切りを。少し棒読み調。タイトルの後に区切りを。声が弱い。本文に入るのが早い。滑舌が甘い。「嬉しいこと、～こと」のアクセント。ナンバーコールをもう少ししっかり。文頭は高く。
38	奨励	最初から同じ音づかいの朗読になっている。	ややマイクから遠いかな。「すっぽり」は無声化。地の文は良かったです。せりふ、無理やり高く強い声にしなくていいと思います。	二人の関係性がわからないと伝わりづらい場面。丁寧に表現しようとしている。声を前に出そう。私のセリフは良いが、彼女のセリフに工夫を。地の文の文末が聞き取りにくい。セリフと同じくらい地の文もしっかり読んでほしい。マイクから遠い。男声で女性のセリフは不利かも。高校生にふさわしい抜粋箇所か。場面が浮かんた。「みわ」の「わ」など聞き取れないところがあった。
39	B	読んでいるだけのように聞こえる。	語尾伸び注意。「私は自分の家が」と続けていますが、そうではないと思います。「うわたしは」になってしまいました。	落ち着いて場面を描こう。聞き手が置いてけぼりになる。全体に単調。文末の処理や緩急のつけ方の工夫を。語尾が上がって伸びている。文末もしっかり下げたい。読んで印象。間や音を工夫して。声はよい。話すように読みましょう。
40	B	声出しが一定になってるため、動きを感じにくい。	「ぼかん」として「いた」のように区切らないで。小谷のつぶやきは、早口じゃないほうがいいと思います。「問いができるのだ」など、慌てすぎた箇所があります。雰囲気は良かったです。	先生が生徒に語り掛ける表現はそれでいい？一つ一つの音を大切に。地の文の表現を大切に。場面がわかりづらい。間の取り方を工夫したい。滑舌。口の不要な動きが多い。カ行。セリフが聞こえない。何と言っているかわからない。一文めの入り方に工夫を。文頭は高く。
41	A	音声の使い分けになっていない。常におねじゾーンの音声でしゃべるため、棒読みに聞こえる。	「一目ぼれを下」が、上ずってしまいました。「すどん」とのように区切るの違和感があります。「さすた」になった。ちゃんと発音してください。雰囲気ではなく、ちゃんと情報を伝えて。「でもすこし和風」ではないと思います。	さわやかな雰囲気づくりができている。区切る場所がずれているので、意味が伝わりづらい。全体に同じペース・同じトーンになっている。弱い箇所が聞き取りにくい。語尾が上がる。声の圧が弱い。タ行が弱い。うねりが多い。低い音を使ってほしい。声が不安定。伝わらない。高低差は小さい。途中早くなりました。
42	A	フレーズの「消え」が気になる。音の使い分けをしているが、もっと声幅を広げたい。	「百連発」だけ高くしないほうがいいです。地の文が低音に頼りすぎの部分があります。「はるなつあきふゆ」がふさわしいのでは？「くすくす」の「く」は無声化。何を分かりやすく告げたかな？ぶつぶつ切れていて分かりませんでした。	鼻にかかった発声に注意。話し言葉の自然な息で表現しよう。うねりが気になる。低くて苦しそうなところがある。全体の音程を考えて。助詞が上がって、伸びているところがある。「せおまいこ」が「ておまいこ」に聞こえる。タイトルが跳ねる。滑舌が甘い。発声が潜ることがある。「空に」の目線がかわって良かった。文末が下がっていないところがある。一つ一つの単語が早い。
43	B	自然な息づかいをかんじない。地の文が棒読みになっている。	マイクから遠すぎると思います。お母さんは、そんなに明瞭に迷わずしゃべったかな？「ほほ」など、ちゃんと発音できない言葉がありました。「取ったという」です。「飲みながら」のアクセントは中高です。	冒頭セリフのため、場面がわかりづらい。主人公は女性？全体に単調。少しマイクから遠い。セリフはよいが、地の文に工夫を。作品の選定に工夫を。単調な読みになっている。セリフと同じくらい地の文をしっかり。マイク遠い。ワ行が甘い。セリフが多い。早い。ナ行が甘い。滑舌。音域が狭い。冒頭のセリフに工夫がほしい。うねりが気になる。ラストの切り方に工夫を。
44	欠席			
45	B	もっと色々な声づかいで表現してほしい。強弱感のない朗読になっている。	音域を広く使いましょう。予習していないで聞くと、この抽出箇所は場面設定がほとんど理解できませんでした。	場面を作る工夫を。地の文なのかセリフなのかわかりづらい。ずっと同じトーン・ペースで表現してしまっている。セリフの切り替え、フレーズの作り方を考えて。間の取り方が単調。文末が聞き取りづらい。言葉の切れがほしい。音読的。伝える工夫がほしい。文頭はもう少し高く。話すように意識しよう。